2026年11月11日

各　　位

会 社 名　ネポン株式会社
代表者名　代表取締役社長兼CEO　福田　晴久
（コード番号 7985 福証本則）
問合せ先　取締役管理本部長　堀　建二郎
（TEL.） 046-247-3111

2027年３月期 第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年５月14日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）（2026年４月１日～2026年９月30日）連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．連結業績予想値と実績値との差異

2027年３月期 第２四半期連結業績予想値と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	3,094	△111	△117	△116	△121.15円銭
実績値　（B）	3,425	△2	△4	△12	△12.86円銭
増減額　（B－A）	331	108	112	103	
増減率（%）	10.7%	－	－	－	
（ご参考）前期実績（2026年３月期中間期）	3,111	△169	△173	△175	△183円81銭

２．差異の理由

売上高に関しましては、2025年８月の熊本県、鹿児島県における豪雨被害を受けた農業用施設等の復旧工事が当中間連結会計期間内より本格化したことに伴う販売増加等により、売上高が前回発表予想に比べ増加しました。

また、経費削減努力に加え、経費支出の一部が下期へずれ込んだ等の要因により、販売費及び一般管理費が計画対比減少したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も前回発表予想に比して増加しました。

一方、中東を含む不安定な世界情勢や円安傾向等に伴う燃料、資材及び肥料等の価格上昇により、当社の主力お取引先とさせて頂いております農産物生産者を取り巻く経営環境の先行き不透明感が足元で高まっており、今後の農用設備投資意欲減退も予想される状況にあります。

現時点ではその具体的な影響額の見通しを立て難い状態でありますが、農産物生産現場の省力化等

に資する施設園芸用暖房機器と施設園芸用ヒートポンプの併用（ハイブリッド）運転の推進による暖房機器売上や農業 ICT クラウドサービス売上等の拡大により、農産物生産者の生産性向上に当社は引き続き貢献して行くことで、業績の改善に取り組んで参ります。

(注)本資料における業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想と異なる場合がございます。

以　上